

# 平成26年からの論文システム全面改革と 交通工学研究発表会

交通工学研究発表会は、毎年約500名の参加者があり、研究・実務の成果を広く公表する機会であるとともに、会員相互の交流の場、研鑽の場として大きな役割を果たしています。

平成26年からの交通工学研究会論文システム全面改革に伴い、交通工学研究発表会も大きく変わりました。その変更点のうち主な点は下記のとおりです。併せて本年平成27年開催の第35回からの変更点も示しています。詳細は募集要項をお読みください。

## ■今回第35回以降の変更点

- ・ 著者数を上限4名とする制限を撤廃しました。著者数の上限はありません。

## ■前回第34回からの変更点

- ・ 論文の書式が変更されました。 当会 Web ページ上にある書式見本をご確認ください。
- ・ 開催時期を変更しました。 本年は平成27年8月31日(月)～9月1日(火)に開催します。
- ・ 投稿時にお支払いいただいていた「審査料」を廃止し、発表審査を通過した論文のみ「掲載料」10,000円+税をお支払いいただく形式になりました。
- ・ 研究発表会后、ご希望の方には改めてフルペーパーを投稿いただき、審査に合格するとオンラインジャーナル「交通工学論文集(特集号)」に掲載されます。

## ■改革前と変わらない点

- ・ 論文は「研究論文」と「実務論文」に分けられます。
- ・ 投稿は Web 上で行っていただけます。本年の締切は平成27年5月8日(金)正午です。
- ・ 発表審査を通過した論文は、「交通工学研究発表会論文集」CD-ROM に掲載されます。

※改革の詳細については当会ホームページをご覧ください。

**研究発表会への多くの方のご参加をお待ちしております。**

**スケジュール概要** ※昨年と時期が前後している所がありますのでご注意ください。

### 第35回交通工学研究発表会

発表申込・論文投稿	平成27年 4月13日(月)～5月8日(金) 正午
論文採否通知	6月中旬
プログラム公表・事前参加申込開始	7月中旬
第35回交通工学研究発表会 開催	平成27年 8月31日(月)～9月1日(火)

### 交通工学論文集(特集号) 第2巻 ※交通工学研究発表会での発表後、ご希望の方のみ

論文投稿締切	平成27年 9月17日(木)
1次判定結果通知	11月中旬
1次修正論文提出締切	12月中旬
2次判定結果通知	平成28年 1月中旬
交通工学論文集(特集号) 第2巻2月発行号 発行	平成28年 2月上旬
2次修正論文提出締切	2月中旬
最終判定結果通知	3月中旬
交通工学論文集(特集号) 第2巻4月発行号 発行	平成28年 4月

お申込・お問い合わせ

一般社団法人 交通工学研究会

<http://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MKビル 5階 Tel 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718

# 第 35 回交通工学研究発表会

## 発表募集

第 35 回交通工学研究発表会を下記の要領で開催いたします。

この研究発表会は、道路交通の安全と円滑及び環境との調和を実現するために、様々な場面で交通工学に携わる技術者の研鑽を図るために行われるものです。学術的研究のみならず、調査・計画・施策など実務や現場に直結した報告(種々の対策実施例を含む)も歓迎いたします。

また、この研究発表会で発表を行うと、平成 28 年刊行のオンラインジャーナル「交通工学論文集(特集号)第 2 巻」への投稿資格を得ることができます。奮ってご投稿下さい。

### 記

1. 主 催 : 一般社団法人 交通工学研究会
2. 日 程 : 平成 27 年 8 月 31 日(月)~9 月 1 日(火)
3. 会 場 : 日本大学理工学部 駿河台キャンパス (東京都千代田区神田駿河台)

### 4. 発表形式

発表言語は原則として日本語とします。

論文発表はプロジェクターを使って行う口頭発表とします。発表時間は、発表 12 分、質疑応答 13 分の計 25 分程度を予定しています(プログラムの編成の都合により発表時間を変更する場合があります)。

### 5. 「研究奨励賞」、「安全の泉賞」

45 歳以下(平成 27 年 4 月 1 日現在)の発表者による優れた論文発表に対して「研究奨励賞」を、交通安全に寄与する優れた論文発表に対して「安全の泉賞」を、それぞれ贈呈いたします。

ただし、両賞ともに投稿時の発表予定者以外による発表は対象となりません。

### 6. 募集要項

#### (1) 論文発表

##### 1) 応募規定

論文は審査付き論文等として未発表のものに限ります。他の審査付き論文等との二重投稿もできません。

投稿する論文数に制限はありませんが、投稿論文は独立した 1 編の論文とし、論文題目(副題も含む)に「その 1」、「その 2」等とつけてはいけません。

著者数の上限はありませんが、発表予定者は当会会員(正会員又は学生会員)に限ります。投稿には会員番号が必要ですので、今回新たに入会される方はあらかじめ入会手続きを行ってください。また、発表審査を通過した場合、投稿時の発表予定者が必ず研究発表会で発表することを前提とします。やむを得ない理由で発表者を変更する必要がある場合でも、著者のいずれかが発表しなければなりません。

言語は日本語または英語に限ります。ページ数は 4 ページを原則とし、最大 8 ページまでとします。

##### 2) 論文の部門

論文は、投稿者の選択に応じて、学術研究や学術調査などの「研究論文」と、実務調査や施策等の実施あるいは実施結果に重点を置いた「実務論文」の 2 つの部門に分かれ、それぞれ別の審査基準に基づいて発表審査が行われます。発表会プログラムは「研究論文」と「実務論文」の区別なく編成されますが、「交通工学研究

発表会論文集」にいずれであるかが明記されます。

なお、ここで選択した部門を、後日「交通工学論文集(特集号)」に投稿する際に変更することはできません。

### 3) 発表審査

交通工学研究会内に設置された学術委員会第 2 学術小委員会が、3 名の査読者による査読を経て、投稿論文を下記の観点から審査し、「発表の適否」を判定します。

研究論文：「新規性」(研究としてのオリジナルな価値を有するかどうか)  
「有用性」(有用な成果が得られているかどうか)  
「将来性」(交通工学の発展に寄与する成果が得られているかどうか)  
実務論文：「適時性」(時宜を得たテーマであるかどうか)  
「活用性」(実務者にとって参考になる報告であるかどうか)  
「可能性」(仮に途上であっても、実務への展開が期待できるかどうか)  
※通常の知見とは異なる成果が得られた場合や、いわゆる「失敗事例」についても、今後の展開可能性があるかと判断されれば高く評価されます。

また、論文の持つ「標準的な分かり易さ・信頼度」を、

- ・ 題目の適切性 (題目から問題意識、問題点、目的が読み取れるかどうか)
- ・ 目的と結論の対応関係 (目的と結論の対応が取れているかどうか)
- ・ 著者の主張の読み取り易さ (内容から筆者の主張が読み取れるかどうか)
- ・ 推敲 (誤字・脱字、図表見出しの抜けや本文引用との不整合、凡例や変数の説明不足などが生じていないかどうか)
- ・ 書式 (著しい書式違反がないかどうか)

の 5 点から確認し、この点に大きな問題が無いかどうか審査対象となります。ページ数の多少は審査基準に含まれません。これらを全て勘案し、総合評価を行います。

なお、例外的に第 2 学術小委員会より著者に照会・再提出を求めることがありますが、その場合を除いて投稿後の修正はできません。発表に適するとされた論文は、研究発表会に先立って出版される「交通工学研究発表会論文集(CD-ROM)」に掲載され、当会の文献情報に登録されます。

### 4) 論文の書式

書式見本を当会 Web ページからダウンロードし、規定に従って執筆の上、発表審査通過後に論文集 CD-ROM に収録される完成された論文 PDF ファイルを作成して下さい。書式は第 33 回(平成 25 年)までのものと異なりますのでご注意ください。

### 5) 発表申込・論文投稿方法

4 月 13 日(月)～5 月 8 日(金)正午の間に、当会 Web ページの「オンラインサービス」(研究発表会発表申込)から、次の手順で発表申込と論文投稿を行って下さい。なお、申込後の変更及び取消はご遠慮願います。

- ①「申込内容の入力」画面で、入力フォームに所定の事項を入力するとともに、論文 PDF ファイルをアップロードし、「申込内容の確認画面へ」ボタンを押して下さい。投稿期間中はアップロードを何度でもやり直すことが可能です。

- ・ 原稿の分野：次の中から原則として 1 つを選択して下さい。

交通流(理論・現象分析)／交通容量・サービス水準／交通制御・交通規制／交通安全／  
大気環境(大気汚染)／交通騒音・振動／歩行者・自転車交通／交通情報と交通管制／  
駐車行動と駐車管理／交通需要予測／交通行動分析／公共交通システム／  
ネットワーク交通流／物流・ロジスティクス／移動制約者の交通／道路構造・道路線形／  
道路付属施設／駐車場・ターミナル施設／総合交通計画／地区交通計画／道路計画／  
都市交通計画／交通経済／交通行政／交通心理・人間工学／防災／その他( )

- ・ キーワード：文献登録及びセッション編成の参考にさせていただきますので、論文中に記載したものと同一キーワード(最大 5 つ)をご指定下さい。
- ・ 研究内容の要旨：日本語で 300～350 字でお書き下さい。

- ② 「申込内容の確認」画面で、入力した内容を確認して下さい。また、下部の「投稿済 PDF ファイル」をクリックして、アップロードされたファイルを開き、ファイルが正しく送信されたことを確認して下さい。問題がないことを確認したら、「申込を完了する」ボタンを押して下さい。
- ③ 「受付完了」画面で表示される受付番号とパスワードは、後の確認時に必要となりますので、忘れないよう控えておいて下さい。追って自動送信される受付完了メールが届かない場合は、受付が正常に完了していないので、申込を再度確認して下さい。

## 6) 掲載料

第 33 回(平成 25 年)までは投稿時に「審査料」をお支払いいただいておりますが、前回からこれを廃止し、発表審査後に「掲載料」をお支払いいただく形式となりました。

発表審査を通過した論文については、掲載料として 1 編につき 10,000 円+税を申し受けます。指定の期日(採否通知メールの送信日から 2 週間)までにお支払いがない場合、論文は「交通工学研究発表会論文集」に掲載されず、研究発表会での発表はできません。「交通工学論文集(特集号)」への投稿資格も得られません。

掲載料のお支払いについて、詳しくは採否通知(平成 27 年 6 月下旬予定)をご参照下さい。

## 7) 著作権

投稿論文の著作権は「交通工学研究発表会論文集・交通工学論文集 著作権規程」(当会 Web ページにてご参照下さい)に従い取り扱うものとします。当会は、著者が本研究発表会に論文を投稿した時点で、著者全員が上記の取り扱いに同意したものと見なします。

## 8) その他

当研究会は日本学会協議協力学術研究団体であり、当研究発表会において発表した発明は所定の手続きにより「発明の新規性喪失の例外規定」の適用対象になります。

## (2) デモンストレーション

開発した機器、器材の展示、コンピュータプログラム、ビデオ映像等、様々な出展をお待ちしています。

- 1) デモンストレーションは、論文発表に関連するものに限りです。
- 2) 出展希望者は発表申込の際にその旨を記入願います。
- 3) デモンストレーションに必要な機器類は、出展者でご用意願います。使用機器につきましては、発表申込の際にその内容と台数を記入願います。

(例) パソコン一式、DVD プレーヤー1 台、モニターTV1 台

なお、会場の都合によりご希望に添えない場合もありますので、予めご了承下さい。

※審査を経て発表可となりかつ当日発表した場合、交通工学研究会認定 TOE/TOP 継続研鑽(CPD)単位の申請ができます。詳しくは Web ページ <http://www.jste.or.jp/toptoe/> をご覧ください。

### 発表申込・論文投稿 及び 書式見本のダウンロード:

<http://www.jste.or.jp/> 交通工学論文集・交通工学研究発表会論文集のページをご参照ください。

お問合せ先: 一般社団法人 交通工学研究会 (担当/植田)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MK ビル 5 階

Tel 050-5507-7153 または 03-6410-8717 Fax 03-6410-8718

Email: [kh-system@jste.or.jp](mailto:kh-system@jste.or.jp)

※当会 Web ページにアクセス不可能な方は上記までお問い合わせ下さい。